

第3回理事会議決

平成26年度  
事業計画書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

公益社団法人 三重県観光連盟

# 平成26年度事業計画

## 平成26年度運営方針

平成25年はアベノミクスによる経済対策に国民の期待感が高まり、明るいムードが漂う1年でした。観光に関しては、2020年にオリンピック・パラリンピックの東京開催の決定、富士山や和食の世界文化遺産登録、さらにインバウンドにおいては外国人の訪日客数が1千万人を突破したことなど、追い風と思われることが多くありました。

しかしながら、平成26年は4月に消費増税が実施されることから、経済情勢は不安定であり景気動向は予断を許さない状況であると思われます。観光業界においても地域間の競争はさらに厳しいものとなり、お客様の獲得合戦はますます激しくなっていくと思われます。

三重県においては、去年は式年遷宮がとり行われ、伊勢神宮の参拝者数は当初の予想を大きく上回り1420万人を超える記録的な結果となりました。また1年を通じてメディア等にも多く取り上げられ、伊勢の賑わいが全国に伝えられ、三重県への観光客入り込みにおいて大きく貢献しました。

三重県観光連盟は、県の観光事業推進における最大のパートナーであり、三重県観光キャンペーンに本年も引き続き一体となって取り組み、効率よい情報発信を進めていきます。まだまだご遷宮の雰囲気の色濃く残る中、今年も「おかげ年」ということでたくさんの参拝客が伊勢を訪れます。また7月には熊野古道世界遺産登録10周年を機会に、東紀州地域まで多くのお客様に来ていただけると予想しています。昨年と同様、お越しいただいたお客様が一人でも多く三重ファン・リピーターになっていただき、県内各地を周遊し滞在していただくためにより一層会員及び関係機関との協働・連携を図り、また県内各地域が持つ地域の魅力を的確に掴み効果的な観光情報発信・誘致宣伝を推進しながら各種事業を展開して行きたいと考えております。県内外の人や各地域との活発な交流促進を図りながら、観光客の増大に向け誘致活動に取り組んでまいります。

インバウンドにおいては現在中部運輸局が主導している昇龍道プロジェクトに参画しておりますが、会員との交流を密にしながら、県とともに情報収集・発信に取り組んでまいりたいと思います。

三重県観光連盟は昨年より公益法人としてスタートいたしました。今年度におきましてもその社会的信用と会員の期待に応えていくために各事業において最善の努力を尽くしていきたいと思っております。

なお、具体的な事業内容については次のとおりです。

## 1. 観光情報の収集発信

### (1) 観光情報提供事業(21,344千円)

#### ① ホームページ作成管理

三重県観光の総合的な情報受発信機能を担う機関として、観光情報の収集、観光ニーズの把握及び観光情報の提供をしていくとともに、SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)を活用した情報発信を行う。

ホームページ「かんこうみえ」については、観光連盟としての独自性のあるサイトを立ち上げるなど内容充実に取り組むとともに、バナー広告等による財源の確保に取り組む。

また、三重県観光キャンペーン公式サイトも併設する。

- ・ホームページを中心とした情報提供  
フラッシュやイチョシによる旬の情報の効果的な提供、各サイト情報の充実、メールマガジンによる情報発信を行う。
- ・SNSによる情報提供  
フェイスブック、ツイッター、LINEにオフィシャルページを設けて観光情報を発信する。また、フォロワーやいいね!獲得キャンペーンを行う。

#### ② 観光案内

- ・フリーダイアルによる情報提供

#### ③ 広域観光案内業務(県受託事業予定)(一部新規)

昨年度まで緊急雇用創出事業を活用して職員を雇用し、御在所SA、伊勢市内での案内を行ってきたが、三重県観光キャンペーンが平成28年3月までの3年間行われていることから、キャンペーン事業の一環として引き続き職員を雇用し、窓口での観光案内強化を図っていく。また、三重県観光キャンペーングッズの保管業務も行う。

### (2) 観光情報提供強化事業(24,247千円)

季節ごとの県内の観光情報を提供する季刊紙「観光三重」、「三重の観光ガイド」の発行を通じ、イベント情報、観光地情報等のきめの細かい情報発信に努める。

また、中部国際空港に観光ガイドマップ等を設置し、中部国際空港利用者への情報提供も引き続き行う。

- ・季刊紙「観光三重」の発行
- ・「三重の観光ガイド」の増刷

### (3) 広域観光事業(825千円)

日本観光振興協会の広域観光振興事業を活用し、三重県観光のPR及び観光客誘致を推進する。

- ・日本観光振興協会などとの連携

## 2. 誘致拡大のための広報宣伝

### (1) 観光宣伝事業（10,323千円）

多様な分野の産業から構成される観光事業者等の連盟加入を推進し、観光振興のパートナーづくりを更に進める。

県内外で開催されるイベントのうち、より集客力のあるものに出展し、三重県観光のPRを行う。

県内各地のフィルムコミッションの連携支援や研修を行う。

また、愛知・岐阜との共同事業を実施するなど誘客に努める。

- ・大都市圏会員活動支援事業
- ・産業観光スタンプラリーの共催
- ・F1日本GP地域活性化協議会への参画
- ・フィルムコミッション事業〈県受託事業予定〉
- ・各種観光展への出展
- ・三重県、市町等で構成する三重の観光営業拠点運営協議会への参画
- ・三重県観光キャンペーン推進協議会への参画

### (2) 協働宣伝事業（16,903千円）

県観光・国際局と連携し観光連盟と観光連盟会員が、それぞれの強みを生かしながら協働で宣伝事業の企画、運営を行う。

また、プレス関係者等を対象にした観光情報提供について、より効果的でタイムリーに、三重県観光の情報発信に努める。

#### ① メディアに対する恒常的な情報提供

- ・メディアに対して、専用HP・メールマガジンを通したきめ細かい対応の展開

#### ② 中京圏でのラジオ番組制作

- ・ラジオを使った定期的な観光情報の発信

#### ③ 首都圏における情報発信〈県受託事業予定〉

- ・神宮式年遷宮後の伊勢や世界遺産登録10周年を迎える東紀州などに訪れる観光客に県内各地を巡っていただくための企画である「三重県観光キャンペーン～実はそれ、ぜんぶ三重なんです！～」のPRや三重の観光情報発信等を展開する。イベントそのものが話題を呼ぶようなしなかけ作りを行い、首都圏における本県の知名度の向上を図る。

## 3. 観光産業及び観光文化の振興

### 観光物産連携事業（631千円）

県内外で開催される物産展と連携した観光PRを展開する。

- ・物産観光展出展事業

## 4. 観光基盤整備

### (1) 観光基盤整備事業（3,023千円）

観光連盟の事業運営に関して、会員の意向を反映し効果的な事業展開を図るた

め、会員相互の情報交換・意見交換の場を設定し、ネットワークを強化する。

三重県観光キャンペーンのみえ旅案内所職員などを対象におもてなし向上のための研修会を開催する。

- ・地域懇談会事業
- ・観光事業振興功労表彰
- ・観光案内連携事業〈県受託事業予定〉

(2) 観光ボランティアガイド事業 (522千円)

おもてなし三重観光ボランティアガイド連絡協議会へ事業委託し、ボランティアガイド間の連携、組織の強化を図る。

主な委託内容

- ・総会、全体研修会、地域交流研修会等の開催

5. 外客誘致促進事業

国際観光事業〈県受託事業予定〉 (2,612千円)

外国語版ホームページにより三重県の観光情報を提供する。

- ・外国語版ホームページ管理等